

**YRS**  
ユアーズ

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより



# 横浜ウェブ

第 169 号

## トピックス

### ラポールの祭典2017 開催しました

9月3日（日）、横浜ラポール全館を会場に、ラポールの祭典2017が開催されました。聴覚障害者情報提供施設（以下「情提」）のブースを出すのは今回で3回目。「聴こえない世界をのぞいてみよう！」のテーマで、ミニ手話教室（①10:30～、②13:30～、各回約20分）のほか、デフアスリート（ろうのスポーツ選手）によるミニ講演を行いました。ミニ手話教室では、横浜市聴覚障害者協会のご協力により、ろう者の講師から直接指導。手話に興味や関心のある方に楽しく参加していただきました。各回のミニ手話教室の後、午前はデフバスケットボール日本代表の山田洋貴さん、午後はデフリンピックマウンテンバイク銅メダリストの早瀬久美さんと、同大会自転車競技6位入賞の早瀬憲太郎さんをゲストにお招きし、競技を始めたきっかけやデフリンピックの様子など、楽しいお話をたくさん聞くことができました。ミニ講演時には、手話通訳者と要約筆記者による情報保障を付け、来場された皆さんに、実際に通訳者の仕事の様子を見て知っていただく機会を作りました。そのほか昨年に引き続き、要約筆記（パソコン&手書き）体験コーナー、クイズコーナーやパネル展示なども行いました。来場された方には、毎年恒例の指文字をデザインしたオリジナルの缶バッジを贈呈。情提ブースは延べ約702人、全館で約5,277人の来場者がありました。来年度も引き続き、より良い企画を考え、さらに多くの方に、聴こえないことや情提の事業に興味、関心を持ってもらえる機会になればと願っています。



【ミニ講演】

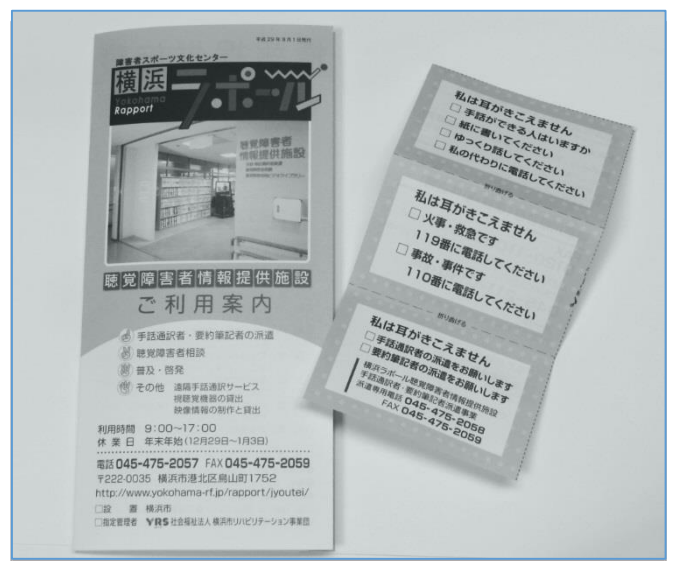


## 【お知らせ】

## トピックス

### 情提の新しいリーフレットができました

当施設利用案内リーフレットについては、これまで施設設立時（25年前）に作成したものを、制度などが変わるとに修正、加筆しながら使用してきました。新たな指定管理事業が追加されたこともあり、今回全面改訂しました。作成にあたっては、利用者の立場になって、持ちやすく使いやすいか、見やすい内容になっているか検討しました。特に救急・緊急時等、聴覚障害者自らが周りに助けを求められるような、切り離して使える「お願いカード」も加えた内容になっています。手にとってご覧ください。



【左 リーフレット 右 お願いカード】

トピックス

## 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第三ブロック会議が開催されました

8月30日（水）、標記会議が横浜ラポールにて開催され、施設長と派遣担当職員1人が出席しました。第三ブロックは、関東7都県に山梨県と川崎市、横浜市を加えた10の情提と、賛助会員施設である東京手話通訳等派遣センター（以下「東派セン」）を含めた計11施設で構成され、ブロック会議や研修を年2回程度開催しています。

横浜市の遠隔手話通訳デモの他、東派センが企業とタイアップして開発中の「画面通訳」のデモを見学した後、各地域での遠隔手話通訳サービスや電話リレーサービスをめぐる動きについて情報交換しました。電話リレーサービスをモデル実施してきた3つの情提（滋賀、熊本、沖縄）に加え、新たに同サービスを担うことになった千葉情提からの報告によると、一日2～3件位の利用があり、利用者のほとんどが県外在住者とのこと。本サービスが、自治体の枠を超えた広域的なニーズに対応するものであることを再認識しました。次回は2月に千葉情提にて、引き続き遠隔手話通訳と電話リレーサービスをテーマとした研修を実施する予定です。

普及・啓発事業

## 【実施報告】 講師(担当職員)を派遣しました

9月10日（日）、横浜セネックス（神奈川区）にて、国際ロータリー第2590地区ベイフロント横浜ローターアクトクラブからの依頼を受け講師を派遣しました。当日は同クラブの会員を対象に「聴覚障害者の基礎知識と具体的対応方法について」をテーマに、聴覚障害に関する基礎知識の他、具体的なコミュニケーションについてパワーポイントや映像を見ていただきながら話しました。写真のように参加者同士で二人組になって、筆談や読話（口の形を読み取る）の体験も取り入れました。



【研修の様子】

研修の形も依頼団体も様々ですが、聴覚障害者がいろいろな場に安心して参加できる環境作りのきっかけとして発信していきたいと思えます。

## 【実施報告】 普及・啓発事業の取り組み

「障害者差別解消法に基づく区職員向け研修会」を、金沢区（9月6日、9月20日）と磯子区（9月7日、9月21日）で実施しました。本研修は、平成28年・29年度の2ヶ年の事業で、今年度は10区で開催予定となっています。

研修は2日間で、1日目は知識編として障害者差別解消法や合理的配慮、聴覚障害に関する基礎知識、コミュニケーション方法等の講義を行いました。2日目は実践編として、ゲストに横浜市聴覚障害者協会と横浜市中途失聴・難聴者協会から当事者を招き、区役所内の場面を想定した窓口対応のロールプレイを行いました。知識編と実践編で学びを深め、具体的な対応方法について知る機会になったようです。



【金沢区の様子】



【磯子区の様子】

## 【参加報告】 第45回 横聴協のつどい

9月10日（日）、戸塚区公会堂にて、横浜市聴覚障害者協会主催の標記つどいが開催されました。当施設のブースを設けさせていただき、来場者にチラシを配布する等、施設の事業利用の促進に努めました。今回は大会誌と一緒に情提からのお知らせを同封して下さり、参加者全員に情提事業の周知がなされました。特に、今年7月から変更になった、当施設の開所時間の変更や、手話通訳・要約筆記者の目印の変更について周知するととても良い機会となりました。

相談事業

## 【お知らせ】 聴覚障害者相談申込み専用 メールアドレスができました

最近では自宅にFAX機を持っていない聴覚障害者も増え、スマートフォンや携帯電話でのメールが主な通信手段となっています。そこで、9月1日より聴覚障害者相談用メールアドレスを開設致しました。相談のご予約に利用いただけます（聴覚障害者専用）。メールを送信する際は①氏名②住所③連絡先④相談希望日時（第3希望まで）⑤相談内容⑥相談場所を明記して送信してください。相談は基本的には当施設内で行いますが、ご希望によってはご自宅や職場等への訪問相談も行っています。詳しいチラシが情報提供施設にありますのでご希望の方はお問い合わせください。また、手話通訳・要約筆記派遣用アドレス（聴覚障害者専用）もありますので併せてご利用ください

○聴覚障害者相談申込用アドレス [rapport.soudan@yokohama-rf.jp](mailto:rapport.soudan@yokohama-rf.jp)

○手話通訳・要約筆記派遣用アドレス [rapport.tsuyaku@yokohama-rf.jp](mailto:rapport.tsuyaku@yokohama-rf.jp)

## 【参加報告】

### 平成29年度 第2回 関東ろうあ者相談員連絡会



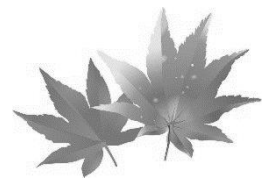
9月8日（金）、標記連絡会が聴力障害者情報文化センターで開催され、19人の参加があり、当施設から2人が参加しました。

情報交換の後、聴力障害者情報文化センター施設長・相談員の森せい子氏を講師に、「相談員のセルフケア・セルフヘルプ、ストレスマネジメント」との内容で講演が行われました。4～5人ずつのグループに分かれて進行し、「他人から見た自分」を知る方法として「ジョハリの窓」に取り組み、「対人援助職としての自己成長」「自己を知る」「ストレス解消法」「ピアスーパービジョン」などについて話を伺いました。今回の連絡会の模様は紙面にて報告します。

情報事業

## 実習生がやってきました！

8月22日（火）から9月3日（日）の間、日本福祉教育専門学校社会福祉学科手話通訳コース2年の今野菜恵さん（10日間）と国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科2年の小畑梓さん（5日間）を実習生として受け入れました。当施設事業や横浜ラポールの祭典、区職員向け研修会など多岐にわたって学んでいただきました。お2人の今後に期待しています。



**小畑梓さん**短い期間でしたが、学校の中で勉強しているだけではわからない、たくさんの方を教えていただきました。職員の方から色々なお話を伺い、情報提供施設や手話通訳者が担う役割の重要性について改めて実感させられました。また、職員の方が、その役割を強く意識してお仕事をされている様子が印象的でした。実習を通して見えてきた自身の課題にも、これからきちんと向き合っていきたいと思います。5日間ありがとうございました。

**今野菜恵さん**聴覚障害者情報提供施設について学校で学んでも実際にどういったことをしているのなかなか理解できませんでした。実習を通して実際の現場を拝見することで施設が横浜市に住む聴覚障害者にとってどのような役割を果たしているのかを知ることができました。色々なことを経験させていただき、とても充実した実習となりました。ありがとうございました。

おしらせ

## 年末年始の緊急時について

機関名	F A X 番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	119 (横浜市内)	無休 / 24 時間	○ (申請時に通訳が必要と申し出てください。)
神奈川県警察	0120-110221	無休 / 24 時間	○ (申請時に通訳が必要と申し出てください。)
救急医療情報センター	212-3808	無休 / 24 時間	× (TEL、FAXの対応のみ)
横浜市コールセンター	664-2828 callcenter@city.yokohama.jp	無休 / 8 時 ~ 21 時	× (TEL、FAX、メールでの対応のみ)

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。

おしらせ

## 聴覚障害者情報提供施設年末年始のお休みについて

休み期間 12月29日(金) ~ 1月3日(水)

※12月28日(木)午後5時~1月4日(木)午前9時00分の間、FAX機の受信を停止します。ご了承ください。なお、横浜ラポールは全館12月28日(木)~1月4日(木)休館いたします。



出た!データ!

## (9月末までの累計)

### ■通訳者の派遣・紹介人数

### ■聴覚障害者の相談

容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2,586	120	2,706	2,703	医療	46	92
司法	57	4	61	29	職業	12	13
教育・保育	360	37	397	474	教育	0	0
労働・雇用	359	22	381	458	住宅	8	9
社会生活	613	66	679	598	生活	119	166
自己啓発	111	60	171	162	福祉	63	123
福祉推進	497	674	1,171	1,171	法律	11	27
相談員	0	0	0	3	聞こえ	15	20
他都市	101	20	121	—	合計	274	450
合計	4,684	1,003	5,687	5,598	昨年同月	264	452
昨年同月	4,595	1,003	5,598				

### ■通訳者の現任研修

### ■映像・字幕制作

手話	回数	参加人数	613	自主制作作品数	28
要約筆記	回数	参加人数	309		

情報のかぎ

### 9月

- 8/22~9/3 実習生受入
- 3 ラポールの祭典
- 4 手話1年次研修
- 6 要約筆記者研修
- 6 港町診療所訪問
- 6 区職員研修(金沢区1/2)
- 7 区職員研修(磯子区1/2)
- 9 手話課題別研修
- 10 横聴協つどい式典登壇、通訳Ⅲ実習
- 11 非常動手話通訳者会議
- 12 視聴覚機器点検
- 16 矢向地域77ラ啓発講演
- 13 視聴覚機器点検
- 19 要約新人研6/6
- 20 区職員研修(金沢区2/2)
- 21 区職員研修(磯子区2/2)
- 21 区配置通訳者説明会
- 25 衛生委員会
- 25 手話講師ヒアリング(横聴協)
- 26 事業団階層別研修(4級)
- 26 手話2年次研修
- 28 つくば市研修見学
- 29 事業団階層別研修(4級)
- 30 手話課題別研修
- 30 通訳Ⅲ実習(横聴協)
- 30 手話講師ヒアリング(横聴協)

### 10月

- 2 手話課題別研修
- 3 スキ-ツ課手話研修(1/3)
- 3 手話講師ヒアリング(横聴協)
- 4 要約筆記者研修
- 4 要筆統一試験説明会(港区)
- 5 映像制作担当研修打合せ(川崎情文)
- 5 手話講師ヒアリング(横聴協)
- 6 県セク-打合せ
- 10 視聴覚機器点検
- 11 区職員研修(南区1/2)
- 12 手話統一試験委員会(横聴協)
- 13 映像制作下見(市電保存館)
- 14 障害者スキ-ツ大会結団式
- 14 手話課題別研修
- 16 手話専門研修
- 16 浜の会茶話会参加
- 17 手話2年次研修
- 17 県セク-遠隔通訳研修対応
- 17 スキ-ツ課手話研修(2/3)
- 23 衛生委員会
- 24 事業団階層別研修(5級)
- 24 手話3年次研修
- 24 手話養成運営委員会(横聴協)
- 25 区職員研修(南区2/2)
- 26~31 全国障害者スキ-ツ大会選手団随員(愛媛)
- 31 スキ-ツ課手話研修(3/3)

### 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成 29 年 10 月 31 日

発行者：(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>